学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

１．新設組織の入学定員（編入学定員含む。）設定の考え方及び定員を充足する見込み… ２

（１）学生確保の見通しの調査結果 …… ２

（２）中長期的な１８歳人口の全国的、地域的動向 …… ４

（３）同分野を有する競合校の状況 …… ５

（４）既設組織の定員充足の状況 …… ６

２．学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 …… ６

３．新設組織で養成する人材の社会的要請や人材需要の動向 …… ７

（１）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） …… ７

（２）社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠… ７

１．新設組織の入学定員（編入学定員含む）設定の考え方及び定員を充足する見込み

従来の学問分野にとらわれることなく、人材像主導のカリキュラムを設計・運用すること、その教育の内容を時代が要求する人材像の変遷ともに柔軟に変更する体制を構築すること、社会や企業の抱える様々な課題に直に触れ、課題発見能力・課題解決能力を磨く社会実装教育を全学生に対して導入することを目的として、現在の7学科体制を1学科体制（総合理工学科）に再編する。改組後の総合理工学科の入学定員については、基礎となる現行の総合理工学部７学科の実績を踏まえ設定する。具体的には、（1）学生確保の見通しの調査結果、（2）中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向、（3）競合校の状況、（4）既設学部等の学生確保の状況において、検討・分析した結果、現在の７学科の入学定員数を合計した370名を改組後の総合理工学科の入学定員とし、定員充足についても十分に充足できる見込みがあると判断できる。

また、3年次編入学についても（4）既設学部等の学生確保の状況を踏まえ、現在の入学定員数の12名を改組後の総合理工学科の入学定員とし、定員充足についても十分に充足できる見込みがあると判断できる。

（１）学生確保の見通しの調査結果

改組後の総合理工学部が高等学校の生徒のニーズと合致していることとともに、改組後の総合理工学部の定員充足状況を確認するため、本学部に入学実績のある高等学校の在学生（2年生）を対象に改組案に対するアンケート調査を行った【資料1】。アンケートは過去5年間に10人以上の入学実績のある全国の34校に対して令和6年1月12日から2月2日まで実施し、2,812名の生徒から回答を得ている。アンケートの実施にあたっては、改組構想について説明する資料を配布し、改組の概要と新しい総合理工学部の特色を伝えたうえで、総合理工学部への受験意向と入学意向、総合理工学部の特色に対する魅力度などを尋ねた。

今回は、高校2年生へのアンケート調査としたことから、回答者の属性として理系志望者と文系志望者が混在する形となっているため、以下の分析では、所属クラスにおいて普通科（理系）、理数科、探究科、工業系学科、商業系学科と回答があった1,704名を対象として分析する。

アンケートでは、今回の改組の4つの大きな特色についてその魅力度を尋ねた（質問7～10）。

質問7

「1年生で理工学の基礎を学んだ後に、2年生で専門分野を決定します。各分野で求められる標準的な人材像を目指す「標準履修モデル」が示されており、それを参考に幅広い総合理工学の専門科目から主体的に自分の学びを設計することができます。」

この結果は表1のとおりであり、78.9%の生徒が魅力を感じる（「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計：以下同様）と回答しており、この特色に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

表１　質問７の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	331	19.4%
ある程度魅力を感じる	1,013	59.4%

あまり魅力を感じない	278	16.3%
まったく魅力を感じない	78	4.6%
無回答	4	0.2%
合計	1,704	—

質問8

「各モデルコースでは、それぞれの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、異なる科目も選択し、幅広く理工学の知識を身につけることができます。」

この結果は表2のとおりであるが、「専門分野の内容を深く学ぶこと」ができることと同時に「幅広い理学の知識を身につけること」ができることに対して、82.6%の生徒が魅力を感じると回答しており、この特色に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

表２ 質問８の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	469	27.5%
ある程度魅力を感じる	939	55.1%
あまり魅力を感じない	219	12.9%
まったく魅力を感じない	73	4.3%
無回答	4	0.2%
合計	1,704	—

質問9

「専門人材教育と理工社会実装教育とを通して、高い専門性を修得すると同時に、それを活用して能動的に社会に参画しようとするアントレプレナーシップを身につけた人材や、幅広い視野を持ち合わせて様々な課題の解決に向かって取り組むことができます。」

この結果は表3のとおりであり、80.3%の生徒が魅力を感じると回答しており、極めて魅力的に映っていることがわかる。

表３ 質問９の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	365	21.4%
ある程度魅力を感じる	1,003	58.9%
あまり魅力を感じない	257	15.1%
まったく魅力を感じない	73	4.3%
無回答	6	0.4%
合計	1,704	—

質問10

「卒業研究の研究テーマは、原則、学生自身が所属する分野の中のテーマを選択することとなりますが学生の希望によっては、分野を越境してのテーマ選択も可能です。一方、卒業研究を選択しない学生には、長期企業インターンシップや海外留学などを通じて、卒業研究と同等の教育を行います。」

この結果は表4のとおりであり、85.6%の生徒が魅力を感じると回答しており、極めて魅力的に映っていることがわかる。

表４　質問10の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	578	33.9%
ある程度魅力を感じる	881	51.7%
あまり魅力を感じない	177	10.4%
まったく魅力を感じない	62	3.6%
無回答	6	0.4%
合計	1,704	―

上記のような改組後の新しい総合理工学部の特色を踏まえた上で、本学部を「受験したいと思う」と回答した者は416人であった。この受験意向者416人のうち、「合格したら入学したい」と回答した者は379人であった。今回の調査は、過去5年間に10人以上の入学実績のある高校を対象に実施し、内訳としては、島根県、鳥取県、広島県、岡山県の中国地方の高校及び愛媛県、京都府、兵庫県の高校の34校に調査を依頼し実施した。総合理工学部では約74%が当該高校以外からの志願者となっていることから、改組後の総合理工学部においても、十分な志願者を確保し、定員を充足できるものと判断する。また、今回は、回答者の属性として理系志望者と文系志望者が混在する形で調査を行い、その中の文系生徒についても16%の者が「入学したい」との希望をもっており、これまでに見られなかった文系生徒からも一定の興味は見受けられる。

（２）中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向

平成30年度から令和4年度の島根県及び全国の18歳人口の推移と令和11年度までの18歳人口の予測数は【資料2】のとおり。今後、18歳人口は、令和5年から令和11年の間で、全国で2.1%減少、島根県で7.4%減少することが見込まれ、全国と比較しても島根県における18歳人口の減少が著しい。本学総合理工学部の都道府県別の入学者・受験者ともに最も多い県は島根県であるが、受験者全体に占める割合は過去3年平均（令和3年度～令和5年度）で15.0%[表5]となっており、県内だけでなく広く全国から受験者を集めている。

令和5年度の県内・県外出身者の受験者数［表5］に令和11年度の令和5年度人口比【資料2】を乗じて算出される令和11年度の受験者見込み数は957名（県内出身者147名、県外出身者810名）、想定受験倍率は2.59倍となり、一定の受験者の確保が可能であると判断できる。

表５　令和３年度から令和５年度　島根大学総合理工学部　県内・県外別受験状況

	受験者数	うち 県内出身者	県内出身者 割合	うち 県外出身者	県外出身者 割合
令和3年度	1,362	178	13.1%	1,184	86.9%
令和4年度	1,217	197	16.2%	1,020	83.8%
令和5年度	986	159	16.1%	827	83.9%
平均	1,188	178	15.0%	1,010	85.0%

（３）同分野を有する競合校の状況

中国四国地方（島根県、広島県、岡山県、山口県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県）の国立大学のうち、理工学部分野に限定すれば徳島大学理工学部と高知大学理工学部が競合校となる。本学を含む3大学の令和3年度から令和5年度の受験倍率は、1.5倍～3.3倍で推移しており、各大学は同様の状況であるといえる[表6]。

表６-１　令和３年度～令和５年度　島根大学総合理工学部　入学者志願状況

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
令和3年度	400	1,362 (3.41倍)	797 (1.99倍)	434	410	1.03
令和4年度	400	1,217 (3.04倍)	691 (1.73倍)	450	404	1.01
令和5年度	370	986 (2.66倍)	573 (1.55倍)	398	371	1.00
平均	390	1,188 (3.05倍)	687 (1.76倍)	427	395	1.01

表６-２　令和３年度～令和５年度　徳島大学理工学部　入学者志願状況

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
令和3年度	550	2,280 (4.15倍)	1,199 (2.18倍)	637	550	1.00
令和4年度	550	2,610 (4.75倍)	1,438 (2.61倍)	642	546	0.99
令和5年度	565	1,726 (3.05倍)	1,000 (1.77倍)	666	589	1.04
平均	555	2,205 (3.97倍)	1,212 (2.18倍)	648	562	1.01

表６-３　令和３年度～令和５年度　高知大学理工学部　入学者志願状況

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
令和3年度	235	586 (2.49倍)	398 (1.69倍)	256	235	1.00
令和4年度	235	1,004 (4.27倍)	787 (3.35倍)	273	250	1.06
令和5年度	235	594 (2.53倍)	445 (1.89倍)	264	243	1.03
平均	235	728 (3.10倍)	543 (2.31倍)	264	243	1.03

（４）既設組織の定員充足の状況

過去5年間（平成31年度から令和5年度）の総合理工学部全体の志願倍率は3.4倍、受験倍率は2.1倍【資料3】であり、定員を充足するだけの十分な受験者数を確保している。また、全ての学科で受験倍率は1.8倍以上であり、総合理工学部のいずれの分野においても、学生の需要は十分にあると考えられる。

また、編入学者についても過去5年間（平成31年度から令和5年度）の志願倍率は5.5倍、受験倍率は5.3倍【資料3】であり、十分な志願者を確保し、12名の定員を充足できるものと判断する。

２．学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

島根県内を中心とする中国地区の高等学校及び高等専門学校に対して以下の広報活動を行い、新総合理工学部の魅力を発信する。これによって受験生の増加を図っていく。

①リーフレット作成と高校訪問

令和6年7月には改組後の総合理工学部を紹介するリーフレットの作成を予定している。リーフレットが完成次第、進学実績のある高等学校及び高等専門学校の進路指導担当者に今回の改組の趣旨を説明したうえで、高校生へのリーフレット配布を依頼する予定であり、大きな宣伝効果が期待できる。

②オープンキャンパス

例年、8月にオープンキャンパスを開催しており、多くの受験生が参加している。令和5年度は8月2日（水）に開催し、総合理工学部だけで高校生373名、既卒者、保護者等255名の参加者があった。令和6年度も同様の日程で開催予定であり、受験生、保護者及び高校の教員などに改組後の総合理工学部の入試制度や教育体制を直接伝える機会となり、大きな効果が期待できる。

③ウェブサイトによる広報

島根大学総合理工学部では、ウェブサイトを利用した広報活動を行っており、現在も継続的に入試情報や特色ある教育の紹介のほか、学部生のインタビューなどを掲載している。ウェブサイトを利用した広報活動はかなりの効果が期待できるため、今後、できるだけ早い時期に新しい総合理工学部総合理工学科の紹介ページを作成し、情報の周知に努める。

３．新設組織で養成する人材の社会的要請や人材需要の動向

（１）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

今後ますます複雑化・複合化する国際社会の中で、我が国の産業界を担う理工系専門職・技術者の求められる姿を考える時、大学及び大学院教育で身につける一定範囲の専門性が高度なものであることは当然であるとしても、これに加えて、大学で身につける知識や経験を、社会でどのように活かしていくかを自ら考え、能動的に社会や産業のイノベーションに参画しようとするアントレプレナーシップ、すなわち社会実装に向けた志向（思考力）や態度（行動力）を身につけた人材の育成が求められる。これらの社会的ニーズに応える専門職業人や研究者を育成していくことを目的として、総合理工学部では教育研究を遂行する。

（２）社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

①社会的、地域的な人材需要の動向

世界情勢に目を向けると、経済安全保障リスク、デジタル化やグリーン化への対応は、より大きく現実的な課題として、重くのしかかっている。ロシアによるウクライナ侵攻は、世界の安全保障環境を劇的に変化させ、歴史的なインフレ、エネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱を発生させた。コロナ禍においては、中国・上海でのロックダウンは、グローバルサプライチェーンの脆さを露呈させ、一部の半導体についての需給ひっ迫は未だ収まらず、各国が連携してグローバルサプライチェーンを強靱化することの重要性が高まっている。 更に、気候変動への対応において、脱炭素目標を掲げる国は世界の GDP の 9 割を占め、欧米をはじめ、排出削減と経済成長を両立するグリーントランスフォーメーション（GX）を標榜して投資競争が激化する様相にある。こうした中、半導体や蓄電池をはじめとした技術の向上がその両立の鍵を握る時代が到来しており、それに向けた人材育成が急務である。このような複雑化・複合化する社会的課題に向き合い、それを理工学の知見を武器に解決して行くことができる人材を養成するには、高度な専門性を保ちながらも、理工学の各分野の知見を総合的に広い視野とともに活用できる能力が重要になってくる。また、大学で身につけた知識や経験を、社会でどのように活かしていくかを自ら考え、能動的に社会や産業のイノベーションに参画しようとするアントレプレナーシップ、すなわち社会実装に向けた精神の涵養が重要である。

地域産業の状況を見ると、島根県において「しまね産学官人材育成コンソーシアム」を結成し、産学官が一体となって島根県における高等教育の在り方やその果たすべき役割等について認識を共有し、『島根県版 高等教育のグランドデザイン』を令和 4 年 3 月に策定している。その中では、異分野・異領域へと越境する力、グローバルな視野と発想力、高い外国語運用力、知識・技能を常に更新しようとする自己教育力、多様な人と人をつなぐコミュニケーション力、などが必要とされている。県内の産業においては、島根県の外貨獲得シェアのうち約 7 割はものづくり産業であり、その分野の強化、先鋭化は地域産業振興の鍵である。具体的には、伝統産業である金属素材産業を土台として、それを製品として昇華させる機械産業や、セラミックコンデンサを中心とする電気産業が立地しており、これらの分野への人材供給は 1 つの使命となる。また県内には、プログラミング言語「Ruby」をはじめとするオープンソースソフトウェアを活かしたシステム開発やビジネス拡大・創出の動きが活発であり、IT 企業の誘致にも力を入れてきた。これらの企業の振興は、IT 産業自体の振興にと

どまらず、県内産業全体のデジタル化を後押しすることにもつながる。また、県内外を問わず、持続的な社会の実現に向けた環境・国土の保全などへの関心の高まりがあり、これらの課題に取り組む高度人材の供給も重要である。

②卒業後の進路に関する調査結果の概要

卒業後の進路に関する調査として、本学部の卒業生を採用している企業にアンケート調査を行った【資料4】。その結果、169社から回答があった。

企業からの採用意欲について、総合理工学部総合理工学科を卒業もしくは卒業後に大学院を修了した学生を採用したいと思われますかの質問に対し、98.2%の企業（166社）が採用したいと回答しており、本学部の卒業生に対する高い期待を有していると言える。

また、各企業に対して総合理工学部の教育に関してどの程度魅力を感じるか質問を行った結果、以下の回答が得られた。

1）総合理工学科１学科体制により、従来の学問分野にとらわれることなく、人材像主導の教育カリキュラムを設計・運用し、その教育の内容を時代が要求する人材像の変遷ともに柔軟に変更する体制を構築する。「とても魅力を感じる：42.6%」、「ある程度魅力を感じる：49.7%」と、回答した企業の92.3%から魅力を感じていると回答があった。

2）社会や企業の抱える様々な課題に直に触れ、課題発見能力・課題解決能力を磨く社会実装教育を全学生に対して導入する。「とても魅力を感じる：57.4%」、「ある程度魅力を感じる：42.0%」と、回答した企業の99.4%から魅力を感じていると回答があった。

3）一括入試を導入するとともに、1年次には専門分野を確定させず、全分野の基礎となる専門基礎科目と幅広い専門分野の導入科目を俯瞰的に学習する。その後に、自分が興味を持つ分野を選択する（レイトスペシャライゼーション）。「とても魅力を感じる：43.2%」、「ある程度魅力を感じる：49.7%」と、回答した企業の92.9%から魅力を感じていると回答があった。

4）アントレプレナーシップやインターンシップ等、社会や企業の抱える様々な課題に直に触れ、課題発見能力・課題解決能力を磨く教育を導入する。「とても魅力を感じる：56.8%」、「ある程度魅力を感じる：40.8%」と、回答した企業の97.6%から魅力を感じていると回答があった。

5）特定の人材像を目指す専門教育を重視しつつも、学生の意欲に応じて関連する分野に関わる教育を柔軟に習得できる教育課程とする。「とても魅力を感じる：45.6%」、「ある程度魅力を感じる：50.3%」と、回答した企業の95.9%から魅力を感じていると回答があった。

以上の結果から、総合理工学部総合理工学科で実施する教育や人材育成方針が多くの企業から支持を受けていると言える。

今回の調査では、本学部の卒業生を採用している企業を調査対象として実施し、当該企業の採用予定数を合計すると約220名であった。例年、企業のほかに教員や公務員に就職する者が約48名（令和2年度から令和4年度の平均）あり、さらに進学者についても約138名（令和2年度から令和4年度の平均）ある。また、令和2年度から令和4年度の実質就職率は96.8%である。これらのことから、卒業生の進路については十分に確保できるものであると判断する。

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料１　島根大学総合理工学部総合理工学科（仮称 設置構想中）に関する
アンケート【高校生向け】…… ２

資料２　年度別島根県及び全国の 18 歳人口推移 …… ８

資料３　平成 31 年度～令和５年度島根大学総合理工学部入学志願状況 …… ９

資料４　島根大学総合理工学部総合理工学科（仮称 設置構想中）に関する
アンケート【企業向け】…… 11

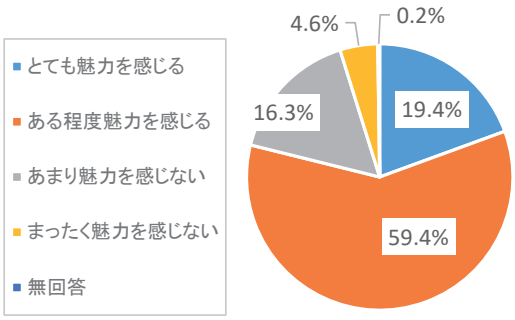
資料５　新生総合理工学部パンフレット【高校生・企業共通】…… 18

資料　1

島根大学総合理工学部総合理工学科（仮称 設置構想中）に関する アンケート結果【高校生向け】

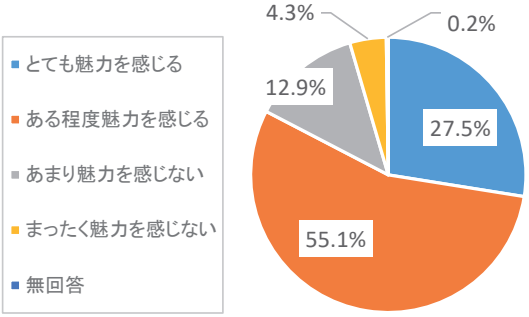
質問7）1年生で理工学の基礎を学んだ後に、2年生で専門分野を決定します。各分野で求められる標準的な人材像を目指す「標準履修モデル」が示されており，それを参考に幅広い総合理工学の専門科目から主体的に自分の学びを設計することができます。

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	331	19.4
ある程度魅力を感じる	1013	59.4
あまり魅力を感じない	278	16.3
まったく魅力を感じない	78	4.6
無回答	4	0.2



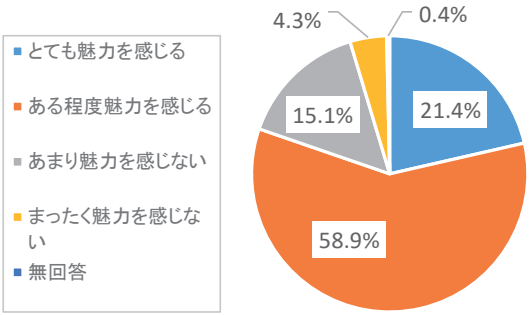
質問8）各モデルコースでは、それぞれの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、異なる科目も選択し、幅広く理工学の知識を身につけることができます。

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	469	27.5
ある程度魅力を感じる	939	55.1
あまり魅力を感じない	219	12.9
まったく魅力を感じない	73	4.3
無回答	4	0.2



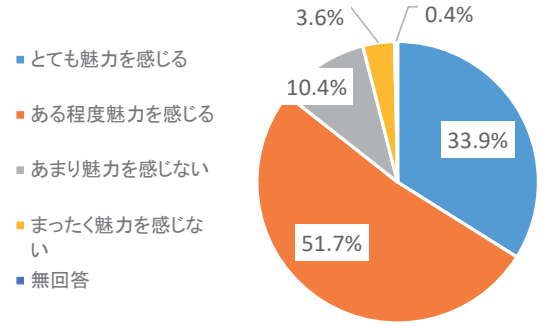
質問9）専門人材教育と理工社会実装教育とを通して，高い専門性を修得すると同時に，それを活用して能動的に社会に参画しようとするアントレプレナーシップを身に着けた人材や，幅広い視野を持ち合わせて様々な課題の解決に向かって取り組むことができます。

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	365	21.4
ある程度魅力を感じる	1003	58.9
あまり魅力を感じない	257	15.1
まったく魅力を感じない	73	4.3
無回答	6	0.4



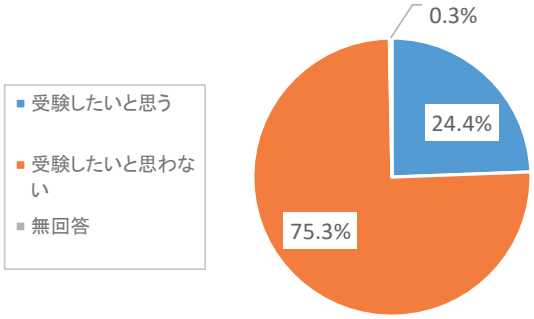
質問10）卒業研究の研究テーマは、原則，学生自身が所属する分野の中のテーマを選択することとなりますが学生の希望によっては、分野を越境してのテーマ選択も可能です。一方、卒業研究を選択しない学生には、長期企業インターンシップや海外留学などを通じて、卒業研究と同等の教育を行います。

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	578	33.9
ある程度魅力を感じる	881	51.7
あまり魅力を感じない	177	10.4
まったく魅力を感じない	62	3.6
無回答	6	0.4



質問11）島根大学「総合理工学部総合理工学科（仮称、設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。

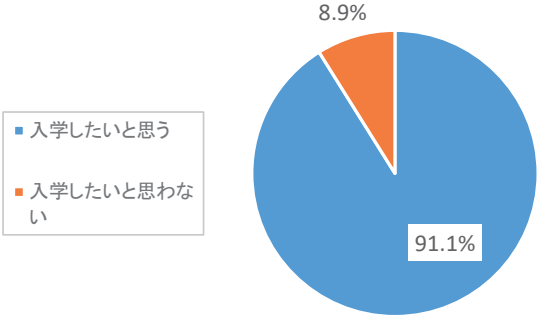
	回答数	構成比
受験したいと思う	416	24.4
受験したいと思わない	1283	75.3
無回答	5	0.3



質問12）島根大学「総合理工学部総合理工学科（仮称、設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。

質問11「受験したいと思う」と回答したうち

	回答数	構成比
入学したいと思う	379	91.1
入学したいと思わない	37	8.9



（高校生のみなさま）島根大学総合理工学部総合理工学科（仮称　設置構想中）に関するアンケート

島根大学では、令和７年（2025年）４月に「総合理工学部総合理工学科」（仮称）を設置することを構想しています。このアンケートは、高校生の皆さんから進学選択に関する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお聞きし、島根大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。
アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。また、回答内容によって、皆さんに不利益が生じることはありません。ぜひアンケートへご協力をお願いいたします。

最初にあなたについてお聞きします

1. **性別**

- ◯ 男性
- ◯ 女性
- ◯ 回答したくない

2. 在籍学科

- ◯ 普通科
- ◯ 理数科・探求科
- ◯ その他

3. 高校所在地

答えの選択 ∨

4. 所属クラス

- ◯ 文系クラス（文系コース）
- ◯ 理系クラス（理系コース）
- ◯ その他

高校卒業後の進路や興味のある学びについてお聞きします

5. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から，選択してください（複数回答可）

- [ ] 国立大学に進学
- [ ] 公立大学に進学
- [ ] 私立大学に進学
- [ ] 短期大学，専門学校，専修大学に進学
- [ ] その他

6. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統を選択してください。（複数選択可）
（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください）

- [ ] 経済学・経営学・商学
- [ ] 法学・政治学
- [ ] 社会学
- [ ] 文学・人文科学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む）
- [ ] 国際関係学
- [ ] 語学（言語学含む）
- [ ] 理学
- [ ] 情報科学・データサイエンス学
- [ ] 農学・水産学（獣医含む）
- [ ] 工学
- [ ] 医学・歯学・薬学
- [ ] 看護学・保健学
- [ ] 総合科学
- [ ] 教員養成・教育学
- [ ] 生活科学（食物・栄養学・被服学など含む）
- [ ] 芸術学（美術・デザイン、音楽など含む）
- [ ] その他

島根大学「総合理工学部総合理工学科（仮称　設置構想中）」についてお聞きします

島根大学では、令和７年（2025年）４月に現在の総合理工学部「物理工学科」，「物質化学科」，「地球科学科」，「数理科学科」，「知能情報デザイン学科」，「機械・電気電子工学科」，「建築デザイン学科」の７学科を1学科に改編して、新たに「総合理工学部総合理工学科」（仮称）を設置することを構想しています。
ここからは、島根大学総合理工学部総合理工学科のパンフレットを見てからお答えください。

島根大学「総合理工学部総合理工学科（仮称、設置構想中）」には、以下の設問7～１０のような特色があります。
あなたはどの程度魅力を感じますか。それぞれについてあてはまるものを一つ選んでください。

7. １年生で理工学の基礎を学んだ後に、２年生で専門分野を決定します。各分野で求められる標準的な人材像を目指す「標準履修モデル」が示されており，それを参考に幅広い総合理工学の専門科目から主体的に自分の学びを設計することができます。

◯ とても魅力を感じる

◯ ある程度魅力を感じる

◯ あまり魅力を感じない

◯ まったく魅力を感じない

8. 各モデルコースでは、それぞれの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、異なる科目も選択し、幅広く理工学の知識を身につけることができます。

◯ とても魅力を感じる

◯ ある程度魅力を感じる

◯ あまり魅力を感じない

◯ まったく魅力を感じない

9. 専門人材教育と理工社会実装教育とを通して，高い専門性を修得すると同時に，それを活用して能動的に社会に参画しようとするアントレプレナーシップを身に着けた人材や，幅広い視野を持ち合わせて様々な課題の解決に向かって取り組むことができます

◯ とても魅力を感じる

◯ ある程度魅力を感じる

◯ あまり魅力を感じない

◯ まったく魅力を感じない

10. 卒業研究の研究テーマは、原則，学生自身が所属する分野の中のテーマを選択することとなりますが学生の希望によっては、分野を越境してのテーマ選択も可能です。一方、卒業研究を選択しない学生には、長期企業インターンシップや海外留学などを通じて、卒業研究と同等の教育を行います。

- ◯ とても魅力を感じる
- ◯ ある程度魅力を感じる
- ◯ あまり魅力を感じない
- ◯ まったく魅力を感じない

11. 島根大学「総合理工学部総合理工学科（仮称、設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。

- ◯ 受験したいと思う
- ◯ 受験したいと思わない

12. 島根大学「総合理工学部総合理工学科（仮称、設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。

- ◯ 入学したいと思う
- ◯ 入学したいと思わない

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

Microsoft Forms

年度別島根県及び全国の18歳人口推移

１.平成30年度～令和4年度島根県及び全国の18歳人口推移

		平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
島根県	男	3,428	3,298	3,109	3,490	3,280
	女	3,151	3,079	3,008	2,919	2,834
	計	6,579	6,377	6,117	6,409	6,114
全国	男	613,000	597,000	597,000	575,000	568,000
	女	577,000	567,000	567,000	543,000	539,000
	計	1,190,000	1,164,000	1,164,000	1,118,000	1,107,000

出典：「人口推計」（総務省統計局），島根県しまね統計情報データベース

人口はその年の10月1日現在18歳の人口である。全国は日本人人口であり，令和3年度以降の島根県は日本人人口である。

2.令和5年度～令和11年度島根県及び全国の18歳人口見込み数

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	R11/R5比(%)
島根県	男	3,193	3,048	3,094	3,012	2,911	2,939	2,906	91.0
	女	2,981	2,930	2,847	2,860	2,760	2,839	2,814	94.4
	計	6,174	5,978	5,941	5,872	5,671	5,778	5,720	92.6
全国	男	546,000	544,000	549,000	551,000	542,000	539,000	534,000	97.8
	女	517,000	518,000	522,000	525,000	515,000	512,000	507,000	98.1
	計	1,063,000	1,062,000	1,071,000	1,076,000	1,057,000	1,051,000	1,041,000	97.9
		17歳人口	16歳人口	15歳人口	14歳人口	13歳人口	12歳人口	11歳人口	

出典：「人口推計」（総務省統計局），島根県しまね統計情報データベース

令和4年10月1日現在を基準に令和5年度から令和11年度の18歳人口見込み数を算出

全国及び島根県は日本人人口である。

資料 2

資料　3

平成３１年度～令和５年度　島根大学総合理工学部　入学志願状況

島根大学総合理工学部【全体】（私費等除く）

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	400	1,326	3.3	977	2.4	458	417	1.04
令和２年度	400	1,891	4.7	1,136	2.8	439	405	1.01
令和３年度	400	1,362	3.4	797	2.0	434	410	1.03
令和４年度	400	1,217	3.0	691	1.7	450	404	1.01
令和５年度	370	986	2.7	573	1.5	398	371	1.00
平均		1,356	3.4	835	2.1	436	401	1.02

物理工学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	73	217	3.0	157	2.2	83	74	1.01
令和２年度	73	316	4.3	173	2.4	82	77	1.05
令和３年度	73	240	3.3	123	1.7	81	75	1.03
令和４年度	73	209	2.9	118	1.6	91	74	1.01
令和５年度	60	162	2.7	69	1.2	65	60	1.00
平均		229	3.2	128	1.8	80	72	1.02

物質化学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	73	244	3.3	176	2.4	82	77	1.05
令和２年度	73	302	4.1	132	1.8	79	73	1.00
令和３年度	73	215	2.9	116	1.6	81	76	1.04
令和４年度	73	208	2.8	102	1.4	83	77	1.05
令和５年度	60	169	2.8	97	1.6	66	59	0.98
平均		228	3.2	125	1.8	78	72	1.03

地球科学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	50	152	3.0	90	1.8	55	50	1.00
令和２年度	50	276	5.5	187	3.7	55	50	1.00
令和３年度	50	147	2.9	109	2.2	52	51	1.02
令和４年度	50	134	2.7	63	1.3	51	48	0.96
令和５年度	50	120	2.4	66	1.3	50	50	1.00
平均		166	3.3	103	2.1	53	50	1.00

数理科学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	50	159	3.2	96	1.9	66	56	1.12
令和２年度	50	389	7.8	215	4.3	54	49	0.98
令和３年度	50	166	3.3	119	2.4	55	50	1.00
令和４年度	50	153	3.1	84	1.7	54	50	1.00
令和５年度	46	124	2.7	89	1.9	50	45	0.98
平均		198	4.0	121	2.4	56	50	1.02

知能情報デザイン学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	50	203	4.1	169	3.4	53	54	1.08
令和２年度	50	142	2.8	88	1.8	53	52	1.04
令和３年度	50	290	5.8	145	2.9	53	52	1.04
令和４年度	50	127	2.5	94	1.9	55	50	1.00
令和５年度	50	123	2.5	78	1.6	54	52	1.04
平均		177	3.5	115	2.3	54	52	1.04

機械・電気電子工学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	64	178	2.8	122	1.9	70	66	1.03
令和２年度	64	298	4.7	182	2.8	68	64	1.00
令和３年度	64	180	2.8	84	1.3	69	63	0.98
令和４年度	64	270	4.2	140	2.2	72	65	1.02
令和５年度	64	175	2.7	86	1.3	67	64	1.00
平均		220	3.4	123	1.9	69	64	1.01

建築デザイン学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	40	173	4.3	167	4.2	49	40	1.00
令和２年度	40	168	4.2	159	4.0	48	40	1.00
令和３年度	40	124	3.1	101	2.5	43	43	1.08
令和４年度	40	116	2.9	90	2.3	44	40	1.00
令和５年度	40	113	2.8	88	2.2	46	41	1.03
平均		139	3.5	121	3.0	46	41	1.02

平成３１年度～令和５年度　島根大学総合理工学部　3年次編入学志願状況

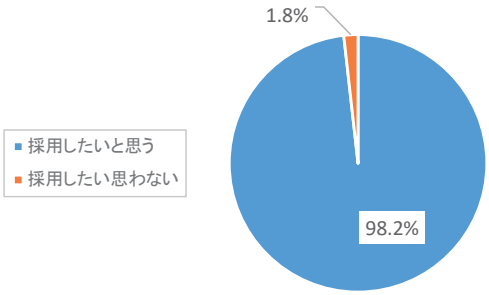
	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成31年度	12	37	3.1	36	3.0	16	9	0.75
令和２年度	12	33	2.8	31	2.6	15	10	0.83
令和３年度	12	43	3.6	41	3.4	20	16	1.33
令和４年度	12	126	10.5	123	10.3	32	27	2.25
令和５年度	12	92	7.7	87	7.3	26	20	1.67
平均		66	5.5	64	5.3	22	16	1.37

資料　4

島根大学総合理工学部総合理工学科（仮称 設置構想中）に関する
アンケート結果【企業向け】

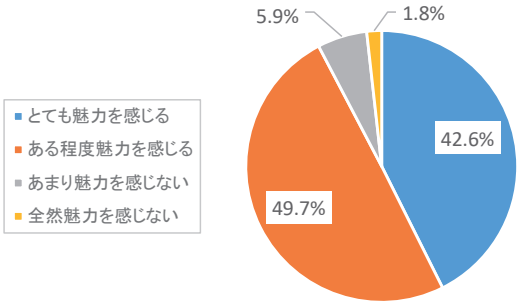
貴社・貴団体では，島根大学総合理工学部総合理工学科を卒業，もしくは卒業後に大学院を修了した学生を採用したいと思われますか

	回答数	構成比
採用したいと思う	166	98.2
採用したい思わない	3	1.8



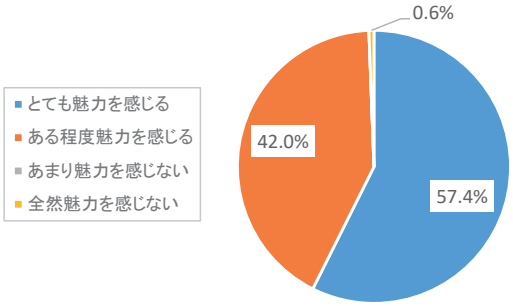
1）総合理工学科1学科体制により、従来の学問分野にとらわれることなく、人材像主導の教育カリキュラムを設計・運用し，その教育の内容を時代が要求する人材像の変遷とともに柔軟に変更する体制を構築する

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	72	42.6
ある程度魅力を感じる	84	49.7
あまり魅力を感じない	10	5.9
全然魅力を感じない	3	1.8



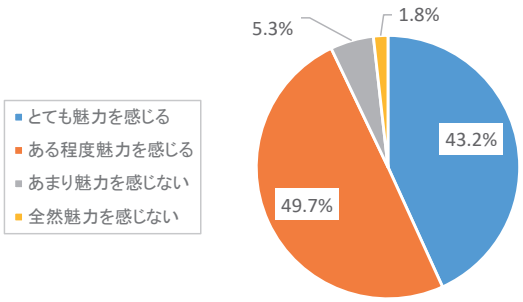
2）社会や企業の抱える様々な課題に直に触れ、課題発見能力・課題解決能力を磨く社会実装教育を全学生に対して導入する

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	97	57.4
ある程度魅力を感じる	71	42.0
あまり魅力を感じない	0	0.0
全然魅力を感じない	1	0.6



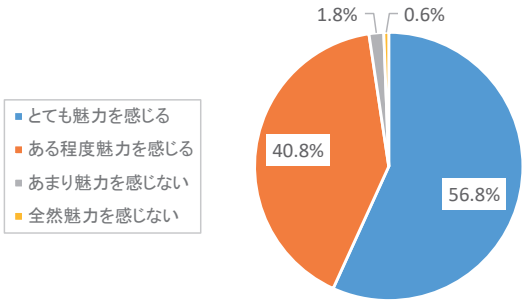
3）一括入試を導入するとともに、1年次には専門分野を確定させず、全分野の基礎となる専門基礎科目と幅広い専門分野の導入科目を俯瞰的に学習する。その後に、自分が興味を持つ分野を選択する（レイトスペシャライゼーション）

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	73	43.2
ある程度魅力を感じる	84	49.7
あまり魅力を感じない	9	5.3
全然魅力を感じない	3	1.8



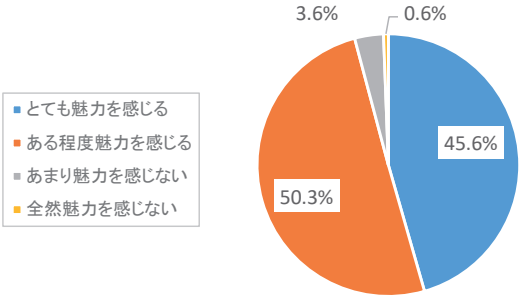
4）アントレプレナーシップやインターシップ等、社会や企業の抱える様々な課題に直に触れ、課題発見能力・課題解決能力を磨く教育を導入する

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	96	56.8
ある程度魅力を感じる	69	40.8
あまり魅力を感じない	3	1.8
全然魅力を感じない	1	0.6



5）特定の人材像を目指す専門教育を重視しつつも、学生の意欲に応じて関連する分野に関わる教育を柔軟に習得できる教育課程とする

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	77	45.6
ある程度魅力を感じる	85	50.3
あまり魅力を感じない	6	3.6
全然魅力を感じない	1	0.6



（人事ご担当者様）「島根大学総合理工学部総合理工学科」（仮称　設置構想中）に関するアンケート

島根大学総合理工学部では，物理工学科，物質化学科，地球科学科，数理科学科，知能情報デザイン学科，機械・電気電子工学科，建築デザイン学科の７学科から，１学科体制への改組を構想しています 。

このアンケートは皆様からご意見を伺い，より充実した教育にするための参考資料とさせていただくものですので，ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、貴社（貴事業所）からいただいた回答は統計的に処理し，個別の情報が公表されることはありません。

* 必須

1. アンケートにお答えいただいている方の，人事採用への関与度を教えてください。*

- ◯ 採用の決定権があり，選考に関わっている
- ◯ 採用の決定権はないが，選考に関わっている
- ◯ 採用には直接関わらず，情報や意見を収集，提供する立場にある

2. 貴社・貴団体の業種についてご回答ください。（主たるものを１つ）
※以下の分類は，日本標準産業分類（総務省）による分類です。
*

答えの選択

3. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員数）について，ご回答ください。*

- ◯ ５０人未満
- ◯ ５０～１００人未満
- ◯ １００～３００人未満
- ◯ ３００～１，０００人未満
- ◯ １，０００～２，０００人未満
- ◯ ２，０００～５，０００人未満
- ◯ ５，０００人以上

4. 貴社・貴団体の所在地（都道府県）をお選びください。貴社が事業所ごとの採用を行っており，事業所において本調査に回答される場合は，当該事業所の所在地をお選びください。 *

答えの選択

5. 貴社・貴団体の過去 3 か年の平均的な正規社員の採用数についてご回答ください。*

6. 社・貴団体での令和 6 年度の採用予定数は，令和 5 年度と比較していかがですか（あてはまるもの 1 つ）。 *

- ◯ 増やす
- ◯ 昨年度並み
- ◯ 減らす
- ◯ 未定
- ◯ 採用予定なし
- ◯ 見送り（中止）

7. 貴社・貴団体では，どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか（あてはまるものすべてお選びください）。*

- [ ] 文学系統
- [ ] 語学系統
- [ ] 法学系統
- [ ] 経済・経営・商学系統
- [ ] 社会学系統
- [ ] 国際関係学系統
- [ ] 教員養成・教育学系統
- [ ] 生活科学系統
- [ ] 芸術系統
- [ ] 複合科学系統
- [ ] 看護・保健学系統
- [ ] 医・歯・薬学系統
- [ ] 理学系統
- [ ] 工学系統
- [ ] 農・水産学系統
- [ ] 学部・学問系統にこだわらない
- [ ] その他

島根大学総合理工学部の特色について（魅力度調査）

ここからは，同封しております資料をご覧いただいた上でご回答ください。

8. 島根大学総合理工学部総合理工学科には，以下の特色があります。貴社・貴団体（ご回答者）は，これらの特色にそれぞれどの程度の魅力を感じますか。 *

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全然魅力を感じない
A 総合理工学科 1 学科体制により、従来の学問分野にとらわれることなく、人材像主導の教育カリキュラムを設計・運用し，その教育の内容を時代が要求する人材像の変遷とともに柔軟に変更する体制を構築する	○	○	○	○
B 社会や企業の抱える様々な課題に直に触れ、課題発見能力・課題解決能力を磨く社会実装教育を全学生に対して導入する	○	○	○	○
C 一括入試を導入するとともに、1年次には専門分野を確定させず、全分野の基礎となる専門基礎科目と幅広い専門分野の導入科目を俯瞰的に学習する。その後に、自分が興味を持つ分野を選択する（レイトスペシャライゼーション）	○	○	○	○
D アントレプレナーシップやインターシップ等、社会や企業の抱える様々な課題に直に触れ、課題発見能力・課題解決能力を磨く教育を導入する	○	○	○	○
E 特定の人材像を目指す専門教育を重視しつつも、学生の意欲に応じて関連する分野に関わる教育を柔軟に習得できる教育課程とする	○	○	○	○

9. 貴社・貴団体では，島根大学総合理工学部総合理工学科を卒業，もしくは卒業後に大学院を修了した学生を採用したいと思われますか。*

- ◯ 採用したいと思う
- ◯ 採用したいと思わない

10. 採用される場合，卒業した学生を毎年何人程度の採用を想定されますか。（あてはまるものを１つ） *

- ◯ １名
- ◯ ２名
- ◯ ３名
- ◯ ４名
- ◯ ５名　～　９名
- ◯ １０名以上
- ◯ 人数は未確定

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

Microsoft Forms

カリキュラムの特色

●入学後に専門分野を決定(レイトスペシャリゼーション)

1年次には，全学基礎教育と理工共通基礎科目を学び，2年次に専門分野を決定します。これにより，理工学の各分野を理解してから，自分が真に興味のある専門分野を選ぶことができます。

●専門性を高めるとともに，アントレプレナーシップと幅広い融合知を養成

専門人材教育と理工社会実装教育とを通して，高い専門性を修得すると同時に，それを活用して能動的に社会に参画しようとするアントレプレナーシップを身に付けた人材や，幅広い視野を持ち合わせて様々な課題の解決に向かって取り組むことが出来る人材を養成します。

●学生が自ら設計する主体的な学び

各分野で求められる標準的な人材像を目指す「標準履修モデル」を提示します。学生は，それを参考に，幅広い総合理工学の専門科目から，主体的に自分の学びを設計することが可能です。

入学料・授業料

◎入 学 料：282,000円　◎授 業 料：535,800円

（島根大学における授業料その他の費用に関する規則に基づく）

アクセス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	仙台→出雲	約1時間30分
	静岡→出雲	約1時間15分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約50分
	※出雲空港から空港連絡バス松江線(約35分)JR松江駅下車	
	東京(羽田)→米子	約1時間20分
	※米子空港から空港連絡バス松江線（約45分)JR松江駅下車	
JR	東京→岡山→松江	約6時間10分
	福岡→岡山→松江	約4時間30分
	大阪→岡山→松江	約3時間50分
高速バス	東京(渋谷)→松江	約10時間25分
	大阪(梅田)→松江	約4時間40分
	岡山→松江	約3時間10分
	広島→松江[特急便]	約3時間20分
	福岡→松江	約8時間

JR松江駅より

■市営バス

北循環線内回り 島根大学前下車 ―― 約15分

島根大学・川津行 島根大学前下車 ―― 約20分

■一畑バス

美保関ターミナル行 島根大学前下車 ―― 約20分

マリンプラザしまね行 島根大学前下車 ―― 約20分

※他に「平成ニュータウン」「あじさい団地」「東高校」等もあります

島根大学総合理工学部（松江キャンパス）

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060　TEL.0852-32-6112　FAX.0852-32-6125　HP：https://www.riko.shimane-u.ac.jp/

人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

専門分野の
垣根を越えて
オンリーワンの
自分を磨く

2025年4月

新生

総合理工学部 誕生

7学科から
総合理工学科1学科
へと改組します

2025年4月開設予定
（設置構想中）

改組前（7学科）……

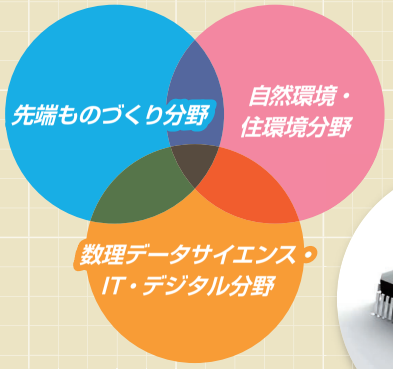
物理工学科，物質化学科，地球科学科，
数理科学科，知能情報デザイン学科，
機械・電気電子工学科，建築デザイン学科

総合理工学科へ

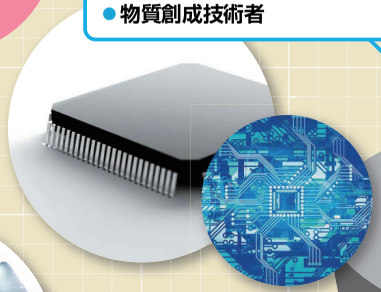
資料 5

※開設時期は予定であり，今後変更する場合があります。

新生総合理工学部 オンリーワンの学びのかたち



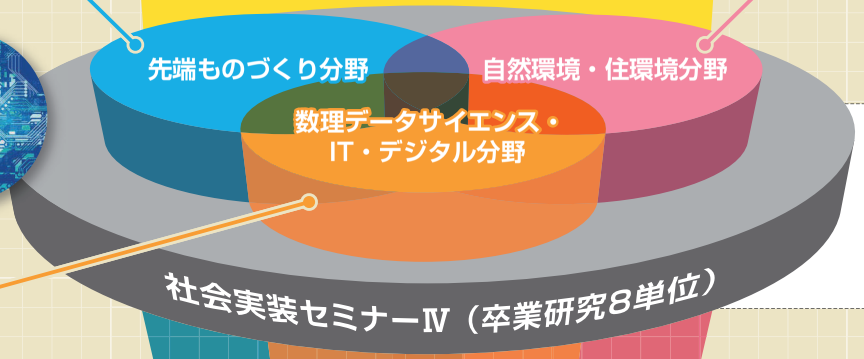
- 半導体・電子デバイス技術者
- 機械電気技術者
- 物質創成技術者



- グリーン科学人材
- 地質防災技術者
- 建築士

- データサイエンティスト
- 情報技術者
- システムエンジニア
- AI 開発者

社会実装教育を柱に，幅広い視野を持つ
高度理工系人材の育成



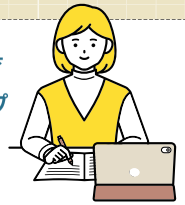
社会実装教育の体系的な展開

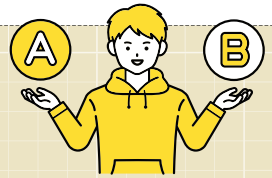
《大学院進学》
融合知をベースに専門知をさらに高度化させ高度情報専門人材としての特性も身につける大学院教育

更なる専門的学習は大学院で

4年次
異分野教員や産業人が指導に参画する課題探究型長期インターンシップや海外留学によって代替可能

2・3年次
アントレプレナーシップ教育
または短期インターンシップ
＋
知財戦略論，経営のデータ戦略，
デザインと数学，環境経済論から選択





履修モデルの選択

1年次
データサイエンスのための基礎数学(必4単位)，
基礎プログラミング(必2単位)，基礎理数学(選択4単位)，
理工学英語(必2単位)，フレッシュマンセミナーⅠ・Ⅱ(必各2単位)

新たなリテラシーを身につける
全学基礎教育(STEAM科目，ユニバーサル科目等)
文理横断，領域融合，越境力の育成を図る島大クロス教育

入試：学部一括募集

※このほか，自由科目として10単位　※数学，情報，理科，工業の教員免許取得も可能

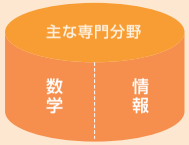
専門人材教育科目

学生の目指す人材像に向けて
関連する専門分野を融合的に学べる専門教育カリキュラム

標準履修モデルを参考に学修者がカリキュラムを設計
履修モデルとは目指す人材像を実現するための専門科目群

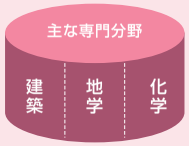
《標準履修モデル》
①電子物理工学人材 養成履修モデル
②半導体応用システム人材養成履修モデル
③機械電気人材養成履修モデル
④機能創成化学人材養成履修モデル

AIロボティクス人材養成履修モデル(分野融合モデル)



《標準履修モデル》
①数理データサイエンス人材養成履修モデル
②数理機械学習データサイエンティスト人材養成履修モデル
③IT・スペシャリスト人材養成履修モデル

環境データサイエンティスト人材養成履修モデル(分野融合モデル)



《標準履修モデル》
①グリーンシステム科学人材養成履修モデル
②地球資源環境・防災科学人材養成履修モデル
③環境保全科学人材養成履修モデル
④建築デザイン人材養成履修モデル
⑤防災配慮型建築人材養成履修モデル